

## 人物書誌大系 46

# 梶井基次郎

北川 眞美子 編

A5・280頁 定価(本体15,000円+税) ISBN978-4-8169-2849-9 2020年10月刊行

### 2021年に生誕120年、2022年に没後90年を迎える 梶井基次郎の個人書誌

- 近代日本文学の代表的な短編作家である梶井基次郎の最新個人書誌です。「人物書誌大系」シリーズ最新刊。
- 梶井基次郎について、著作目録、教科書採用作品、梶井基次郎関連文献・研究文献・批評記事等を網羅、外国語による研究文献の情報も収録しています。
- 38年間にわたって都立図書館司書を務めた編者が丁寧に整理し、詳細・精確な書誌事項を記載しました。

【編者プロフィール】 北川 眞美子 きたがわ まみこ

1948年東京都大田区生まれ。1972年東京学芸大学国語科卒。卒論は「梶井基次郎論」。1972年東京都立日比谷図書館、翌73年より2006年まで都立中央図書館、その後2010年まで嘱託で図書館司書として38年間勤務。

勤務の傍ら、梶井基次郎をテーマに「梶井基次郎関係文献目録」の制作に着手、退職後も図書館調査を重ねて研究を続ける。

2010年より大田区の「馬込文士村」でボランティアガイドを務める。

#### 梶井基次郎 (1901~1932)

小説家。大阪府生まれ。三高在学中から小説を書き始め、東大在学中の大正14年中谷孝雄・外村繁らと同人誌「青空」を創刊し、「檸檬」を発表。同年「城のある町にて」「路上」などを発表。15年健康が許さず伊豆・湯ヶ島温泉に滞在し、川端康成、広津和郎を知る。昭和2年肺を病む者の自意識を描いた「冬の日」、3年「蒼穹」「冬の蠅」「桜の樹の下には」を発表。同年帰郷し療養生活の傍ら「資本論」に没頭する。5年から再び執筆、「愛撫」「闇の絵巻」などを発表。6年創作集『檸檬』を刊行、翌7年小林秀雄に評価されてようやく文壇の人となったが、程なく逝去した。他に「のんきな患者」など。「梶井基次郎全集」(全4巻、筑摩書房)がある。31歳没。

#### 目次

- はしがき
- I 概説
  - II 梶井基次郎年譜
  - III 著作目録  
付:教科書採録作品
  - IV 研究・参考文献目録(出版年月順)  
付:翻訳・外国語研究文献
  - V 索引  
作品名索引  
著者索引  
研究書(単行本)一覧  
雑誌特集号一覧

2020.9

お問い合わせは… 日外アソシエーツ 営業局

TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845

〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 <http://www.nichigai.co.jp/>

■貴店名

注文書

人物書誌大系46  
梶井基次郎

定価(本体15,000円+税) ISBN978-4-8169-2849-9

冊



9784816928499

『人物書誌大系 46 梶井基次郎』内容見本

昭和6年(1931)

- A0040 ⑥ 交尾  
 〈初出〉『作品』2巻1号(通巻9号) 昭和6. 1 作品社 p15~21
- A0041 ⑥ 冬の蠅  
 〈再掲〉『詩・現実』第4冊 昭和6. 3 武蔵野書院 p46~57
- A0042 ⑥ 『檸檬』  
 武蔵野書院 昭和6. 5 271p 19cm  
 〈内容〉檸檬. 城のある町にて. 泥濘. 路上. 過去. 雪後. ある心の風景. Kの昇天. 冬の日. 櫻の樹の下には. 器樂的幻覺. 篋の話. 蒼穹. 冬の蠅. ある崖上の感情. 愛撫. 闇の繪卷. 交尾
- A0043 ⑥ 『親近』と『拒絶』  
 『スワン家の方』誌上出版記念會 『作品』2巻9号(通巻17号) 昭和6. 9 作品社 p52~54

昭和7年(1932)

- A0044 ⑥ のんきな患者  
 〈初出〉『中央公論』47年1号(通巻528号) 昭和7. 1 中央公論社 p147~168
- A0045 ⑥ 栗鼠は籠にはいつてゐる  
 〈遺稿〉『作品』3巻5号(通巻25号) 昭和7. 5 作品社 p2~4

昭和8年(1933)

- A0046 ⑥ 短篇三つ  
 〈遺稿〉『セルパン』27号 昭和8. 5 第一書房 p70~75  
 〈内容〉太郎と街. 琴を持った乞食と舞踏人形. 交尾(Ⅲ) 解題(計野久憲)
- A0047 ⑥ 椽の花  
 〈再掲〉『四季』第2
- A0048 ⑥ 『檸檬 梶井基次郎』  
 武蔵野書院 稲光堂書店  
 〈内容〉檸檬. 城のある町にて. 泥濘. 路上. 過去. 雪後. ある心の風景. Kの昇天. 冬の日. 櫻の樹の下には. 器樂的幻覺. 篋の話. 蒼穹. 冬の蠅. ある崖上の感情. 愛撫. 闇の繪卷. 交尾
- A0049 ⑥ 小説『瀨山の話』  
 〈遺稿〉『文學界』1
- A0050 ⑥ 『梶井基次郎全集』  
 淀野隆三, 中谷孝雄編  
 〈内容〉母親. 奎吉. 矛盾. 太郎と街. 瀨山の上. 雪の日. 椽の花. 溺死. 冬の日. 栗鼠は籠にはいつてゐる. 蒼穹. 篋の話

平成31年・令和元年(2019)

- C2407 ⑥ 北野元生 梶井基次郎におけるカーニバル文学の芽生え—絶筆作品「のんきな患者」論—  
 『佛教大学大学院紀要 文学研究科篇』47号 2019. 3 佛教大学大学院 p47~62
- C2408 ⑥ 國中治 三好達治の二行 『測量船』収録詩篇を中心に  
 『大谷大学研究年報』71集 2019. 4 京都 大谷学会 p79~176 (p107, p146~147, p164~165)
- C2409 ⑥ 岩淵真未 梶井基次郎「器樂的幻覺」論—自己を發現させる〈幻覺〉  
 『國學院大學栃木短期大學日本文化研究』4号 2019. 6 栃木 國學院大學栃木短期大學日本文化学科 p37~51
- C2410 ⑥ 特集 梶井基次郎と宇野千代—凝縮・裝飾の文学  
 『芸術至上主義文芸』45号 2019. 10 芸術至上主義文芸学会 p4~29  
 〈内容〉梶井基次郎「ある崖上の感情」論—「ある意力のある無常感」(森晴雄) 梶井基次郎—その小説と描写(島崎市誠) 梶井基次郎の悪魔と音楽—「器樂的幻覺」「桜の樹の下には」など(井上二葉) 梶井基次郎—詩への理解(間島康子) 一枚の葉書—淀野隆三氏のこと(馬渡憲三郎)
- C2411 ⑥ 村田裕和 梶井基次郎「檸檬」—奇怪な城の〈遊戯人〉  
 『ものがたりたちの京都 京都文学入門』京都と文学研究会編 須藤圭責任編集 武蔵野書院 2019. 10 217, 2p 19cm p93~113
- C2412 ⑥ 浅田次郎 闇の繪卷  
 『パリわずらい江戸わずらい』集英社 2019. 11 241p 16cm (集英社文庫) 小学館文庫2016刊の再刊 p125~130
- C2413 ⑥ 「檸檬」の草稿を公開 梶井基次郎展 作品ゆかりの丸善  
 『毎日新聞』2019年11月15日朝(21面) 毎日新聞社 (瀨山の話)
- C2414 ⑥ 梶井基次郎「檸檬」のルーツ モノクロ影印普及版 実践女子大学蔵  
 『瀨山の話』朝日新聞 2019年12月21日朝(30面) 朝日新聞社
- C2415 ⑥ 尾高修也 先人梶井基次郎  
 『「内向の世代」とともに回想半世紀』作品社 2019. 12 356p 20cm p252~275

令和2年(2020)

- C2416 ⑥ 高等学校「現代文B」—梶井基次郎「檸檬」解説の試み—高等学校「現代文B」高大連携授業の実践—  
 『研究紀要』47号 2020. 3 刈谷 愛知教育大学附属高等学校 p1~11
- C2417 ⑥ 群ようこ 2冊目 梶井基次郎「愛撫」 かわいい家族、猫

「Ⅲ 著者目録」より

「Ⅳ 研究・参考文献目録」より

【シリーズ 既刊】

人物書誌大系45 小川未明Ⅱ 全小説・隨筆 小笠裕二編  
 A5・530頁 定価(18,000円+税) ISBN978-4-8469-2609-9 2016.6刊

人物書誌大系44 河口慧海 高山龍三編  
 A5・570頁 定価(18,000円+税) ISBN978-4-8469-2559-7 2015.9刊